

第 22 回新泉・和泉地区小中一貫教育校設置協議会会議録（要旨）

会議名	第 22 回杉並区立新泉・和泉地区小中一貫教育校設置協議会
日 時	平成 25 年 8 月 27 日（火）午後 2 時 30 分～午後 4 時 25 分
場 所	和泉中学校 視聴覚室
出席者	設置協議会委員 29 名（欠席 2 名）
傍聴者	なし
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 学園章・学園歌の制作について 2 標準服について 3 その他
資 料	<ol style="list-style-type: none"> 1 学園歌・学園章の制作について 2 天沼小学校の校章・校歌の制作について 3 標準服検討部会・地域資料検討部会名簿 4 標準服検討部会会議録(概要)

会長	<p>それでは、これから第 22 回新泉・和泉地区小中一貫教育校設置協議会を開催いたします。</p> <p>それでは、本日の配付資料の確認と協議会の予定について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
計画調整担当 係長	<p>それでは、配付資料を確認させていただきます。</p> <p style="text-align: center;">配付資料確認</p> <p>本日の議題は 2 つございます。まず、1 番目は「学園章・学園歌の制作について」、2 番目は「標準服について」、それぞれご検討いただきたいと思います。以上でございます。</p>
会長	<p>それでは議事に入ります。学園歌・学園章の制作について、資料のご説明をお願いします。</p>
計画調整担当 係長	<p>資料 1、資料 2、それから参考資料をもとにご説明します。</p> <p>まず資料 1 ですが、学園歌・学園章の制作について、前回の協議会で学園歌・学園章を制作する。新たに小中学校の校歌や校章はつくらないということになりました。</p> <p>その下の点線で囲ってあるところが前回の設置協議会で出された主な意見をまとめています。参加することが大切で、児童・生徒に関わりを持たせる。</p>

作曲については、専門性が高くて募集には馴染まないのではないか。学園章はコミュニケーションマークとは性格が異なるのではないか。学園歌は小中一貫教育校ですので、小学校1年生から中学校3年生までが親しみを持てること。

本日、ご検討いただきますのは、どのように制作していけばいいのかということで、その下の囲みにありますが、学園歌・学園章について案を2つずつ掲げています。学園歌の作曲は専門家に依頼する。歌詞はイメージの公募、もしくは第三者（外部）に委託する。この場合、曲調と歌詞とのバランスが必要だということと、小学生と中学生の音域の違いに配慮する必要があることです。それから、製作に期間がかかるので、依頼は早いほど良いということです。

案は、作曲、作詞ともに依頼するという方法です。依頼するにしても、歌詞についてはイメージを公募する。案が、作曲を依頼し、歌詞を公募する。現在の和泉小学校の校歌は、当時の和泉小学校の5年生による作詞で、そのような方法もあるかと思えます。

依頼先については、校歌の制作に実績のあること。こちらの募集したイメージを入れ込むことができること。例えば、校歌の中に学園名を入れるというような条件があるときには、そのような諸々の条件を取り入れていただける方になるかと思えます。

期限は来年12月を目途に、小中一貫教育校の開校時に、新しい学園歌を歌うことになると思いますので、その練習期間も考慮する必要があります。

学園章につきましても案と案があります。案は、図案そのものを公募し、募集の中から何点を候補として選定し、専門業者へトレースを依頼し、再度アンケートをかけ、協議会で決定していくというやり方となります。

もう一つの方法は、図案そのものではなくイメージについて公募をかける。そのイメージによって専門家へ数点の制作を依頼して、再度アンケートをとり、アンケートの結果を踏まえて決定していくという方法です。

なお、公募について、こちらの考え方としては、より完成に近い作品を公募として求めるのか、それともイメージのような形でたくさんの意見を取り入れる公募をかけていくのか。そこもポイントとしてご議論いただければと思います。学園章については、来年の10月を目途に制作を進めていきたいと考えています。

資料2に入りますが、天沼小学校の校章・校歌の制作について、こちらも校章・校歌について公募しましたが、協議会ニュース第8号の裏面にありますように、校章については図案を募集しています。校歌は、歌詞に入れたい言葉や地域の風景、フレーズ、あなたの願いなど、ということで単語を募集しています。

その結果、校章は105点、校歌は76件の募集がありました。校歌の応募

の中には、校歌そのものの案としての提案もありました。その中には、他所の校歌を、校名を変えて募集をかけてものもあったと聞いています。

協議会ニュース第9号の裏面に校章の図柄があります。これは、105点の中から18点を選定し、トレース後の図柄を掲載しております。子どもたちから、保護者からの提案の図柄では、No. 1からNo. 4が他地域の方から、No. 7、10がPTAや保護者の一般の方からの応募です。それ以外は杉五小学校と若杉小学校の児童から応募があった図柄です。

最終的に協議会でこの中から、さらにどれが良いですかアンケートをしましたが、その結果は第10号の裏面に掲載してありますとおり、No. 1が85票、No. 14が27票、No. 11が21票で、一番多かったNo. 1を校章の図柄として決定しております。なお、当初は作成する考えはなかったコミュニケーションマークにNo. 12を選定しております。

それから校歌については、募集をかけたところ76件の応募がありましたが、その結果は第10号裏面の一番下に書かれてあります。76件について協議会で話し合いましたが、統合協議会で募集結果によって、一つの作品をつくることは難しいなどの意見が出されました。そこで真っ直ぐ成長する杉をイメージし、子どもたちにわかりやすく親しみやすいといったコンセプトによって校歌の制作を依頼しました。

議論していただく中で、専門家をイメージしづらいということでしたので、校歌の制作に実績ある方6名を参考資料として配付しています。今回の協議会の前に和泉中学校と和泉小学校の音楽の担当教諭からご意見をいただき、その中でお名前が出てきた方が上から2人と下から2つ目の方です。

一番上の方は現在、調布市の音楽教諭をされています。小学校や中学校で歌われる合唱曲に実績のある方で、校歌も数多く作成していらっしゃいます。2人目の方は校歌の実績はありませんが、現在、区内の音楽教諭で、杉並にかかわりのある方です。この方の作詞作曲した曲が、インターネットで検索しますと、中学校の生徒さんに人気が高いということで取り上げられています。

3番目はテレビに出演されて、顔を見ると、ああこの人かとおわかりになるかと思います。

4番目の方は御存じの方が多いかと思いますが、校歌も数多くつくられています。また杉並区とゆかりや、和泉中学校とも間接的ですがゆかりがあります。

5番目の方は校歌の実績はないのですが、NHKの音楽番組で音楽監督をやられており、又この方のつくった合唱曲は人気が高く学校の先生からご紹介をいただいた方です。

6番目の方は、この中でも年齢が高いですが、合唱の分野では重鎮の方で、校歌を非常に多く制作しています。

	<p>資料に記載していない方でも、さんという方は、元中学校教員で今は作曲家としてご活躍していて合唱曲や校歌をたくさんつくられています。</p> <p>ですから、他にも実績のある方がいらっしゃると思いますし、参考資料でお示したのは参考としてお配りしているということです。</p> <p>どんな曲を制作したかお聞きになりたいということでしたら、数曲ご用意してきています。</p> <p>学園歌・学園章の制作については以上でございます。</p>
会長	最後に話がありましたが、作詞作曲家の制作した校歌あるいは曲について特徴がわかると参考になりますので聞いてみましょう。
計画調整担当 係長	<p>- 曲を流す -</p> <p>資料にある方は参考例ですので、これ以外にも作曲家はいらっしゃいます。今日の視点としては、どんな方に作曲を依頼するのかということで、杉並にゆかりのある方とか、作詞や作曲で著名な方とか、校歌の制作に実績のある方などといったポイントがあると思いますので、ご議論をいただければと思います。</p>
江口委員	永福小の校歌はないんですか。聞きたいですね。
	- 永福小の校歌を流す -
会長	天沼小はあるんですか。
計画調整担当 係長	天沼はございません。歌詞は杉をテーマに、「杉」という言葉を入れるように制作をお願いしました。
学校支援課長	3番の歌詞に「杉の木みたいにまっすぐに」。
計画調整担当 係長	学校名は入っていない歌詞になっています。
会長	ご質問等はございますか。ここに挙がっているのは参考例で、この他にも候補に上がる方がいらっしゃるかと思いますが、何か質問はありますか。
委員	例えば、著名な方へ依頼する場合の予算の上限等はいかがでしょうか。
新しい学校づくり 係長	金額的に果たして受けていただけるのかと思ったのですが、皆さん、校歌を制作することにとっても協力的でした。
委員	その方だからというのではなくて、皆さんも同様なのですか。
学校支援課長	そうです。区の予算内でお願いしています。
会長	<p>他にご質問はいかがでしょう。</p> <p>今日はいろいろな意見をいただく。いろいろな観点はあるかと思いますが、次回にある程度、方向性は決めていきたい。そうしないと期限が間に合わない。1年ではなかなかできないという方もいらっしゃるようなことも伺っていますし、</p>

	<p>学園章も含めて次回にはやり方を決めて、学園歌に関しては、こういう方という方向性を決めていきたいと思います。</p> <p>視点としては、最後に話がありましたが、著名人に頼むのか、杉並にゆかりのある方に頼むのか。校歌をつくったことがある実績のある方をお願いするのか。それを全部含む方でもいいし、2つ含む方でも1つでもいいと。そういう考え方もあるかとは思いますが。それも含めてフリートークでお願いします。</p>
委員	<p>公募するなら「これがいいね」とみんなが決めて、そこから、いい歌詞といい歌を選べばいいですね。だけど、著名人に頼むと、よかろうが悪かろうが、もうそれになるんですね。そうするとなかなか難しいかなと。天沼小学校は、公募したにもかかわらず著名な方へお願いしたんですね。</p>
計画調整担当 係長	<p>そういう過程をたどっています。</p> <p>一つは、歌詞にするには難しかったということと、たくさんのイメージが寄せられたようですが、それをもとにして作成するのが難しかったので、「杉」という1つのイメージに絞って考えていただいたようです。</p>
委員	<p>せっかく考えて出した方のものが、選ばれなかったとしても佳作ということにはならなかったんですか。</p>
計画調整担当 係長	<p>歌詞そのもので応募された方が3点ほどありました。それから、フレーズでは「杉」や「桜」という言葉で応募された方もあり、それを1つに絞ったことになります。</p>
委員	<p>例えば、こういうイメージでつくってくださいということで有名人に頼めますか。</p>
新しい学校づくり 係長	<p>人によっては「イメージをたくさんもらい過ぎると創作意欲がわきません」ということもあるようです。</p>
学校支援課長	<p>永福小のケースでは、永福小・永福南小の両方の学校や地域をよく見てつくってほしいというお願いをしました。学校に実際に来てくださって、校内外や子どもたちの授業の様子を熱心に視察した後、給食も試食していただきました。</p>
委員	<p>すごく永福らしい詞ですね。</p>
計画調整担当 係長	<p>教育目標の「やさしくつよく」という言葉も入っています。</p>
委員	<p>例えば、どなたに頼むにしても打診しますね。でき上がってきた作品に関しては、それなりのものはできてくるとは思いますが、もうちょっとワンランク上のものと思ったときに手直ししていただくのは難しいですよ。</p>
新しい学校づくり 係長	<p>人によるとは思いますが、なかなか難しいですね。</p>

委員	<p>新しい学校だし、これから先のことを考えると、新しい感覚、これからの時代に合うようなものがないという気がしないでもないです。そういう意味で考えると、キャリアで選ぶのか、例えば中学校の先生、先程お聴きした合唱曲もすごくいいなと思いました。そういう方に頼むのも1つだし、そういう方なら、こちら側の要望をある程度、聞き入れてくれるのではないかという点ではお互いにやりやすいなと感じています。</p> <p>もう一つは、誰に依頼するにしても、作詞はこの方とやりたいという本人の希望があれば、それを優先してもいいかなと思うんです。特にいないというのであれば、新たに作曲家と作詞家は別々に頼んでもいいけど、バランスを考えると、お互いに組みやすい人がいると思うので、その辺も打診するときに聞いてみたらどうかと思います。</p>
計画調整担当 係長	<p>参考資料にある方々は、ほとんどは作詞作曲、両方つくる方です。バランスというのがあのようなので、作詞を募集して曲をつけると、作詞を手直しすることが出るようです。永福小学校の校歌については、お2人が非常に綿密に連絡をとってやられたのではないかと思います。</p>
会長	<p>議論として大事な部分で、こちらのイメージを伝えて、それを多少なりとも取り入れてもらえる人なのかどうかというのは、その辺を決めてしまうと随分狭くなってしまうことがあるかもしれません。</p>
計画調整担当 係長	<p>先日、和泉小学校の先生とお話ししたときに、小学校1年生から中学校3年生まで歌うので、小学校は普通の合唱で、例えば中学校に入ったら二部合唱で歌えるように作曲を頼む、そうなるともた絞られてくると思います。</p>
委員	<p>素朴な質問ですが、和泉小、新泉小、和泉中学校の3校の先生につくっていただくことはできませんか。一貫教育では難しいと思いますが、子どもたちにとってみれば、教えてもらっている先生につくってもらうのは、イメージとしてすごくいいかなと思うんです。</p> <p>ただ、一貫教育でお忙しいというのもあると思うので、無理がなければということですが、子どもたちのことも今まで見てくださっていますし、一貫教育という中では小中、両方見てくださっていますし、指導についても、子どもたちは先生方を信頼していますから、そういう意味では、先生にやっていただくのはどうか。私はそういう校歌が聞きたいと思っていますので、一応、案としてどうですか。</p>
会長	<p>もし、そのように協議会から言うとプレッシャーがかかると思います。資料の中には、音楽の先生もいらっしゃいますが、いっぱい校歌をつくっています。つくるのは、ある程度なれています。その方が作った校歌の校長先生が午前中、学校に来ていたので話を聞いたら、学区域を歩いて回って、入れてほしいフレーズを子どもから集めてそれを渡した。その中から幾つかを入れてくれた。そ</p>

	<p>の校長先生は、その方が作った他の中学校の校歌も聞いたけれども、それぞれ違えてつくっている、同じようなパターンじゃないとおっしゃっていました。そういう方がほかにも結構いらっしゃいます。</p> <p>うちの学校も含めて、新泉、和泉中の音楽の教員は確かにいるけれども、指導はしていても校歌をつくっているわけではないので、来年の12月までにつくれといっても厳しいのではないかと思います。</p>
委員	<p>今、音楽の先生の話が出たので、この学園歌をつくるときに、音楽の先生たちも話し合いに参加とか、アドバイスのことを言ってもらいたいということはあるんですか。例えば作曲家の方を御存じだという可能性もありますね。あるいは、音域は、中学校はああだ、こうだというのも、つくるときに参加してもらったほうがいい。私たちはプロではないのでわからないことがたくさんあるので、3校の音楽の先生も交えていただけたらと思います。</p>
会長	<p>そうなると条件をつけることになるので、そういう条件でも受けてくれる人と受けてくれない人が出てくるでしょう。そうなると、作詞作曲家は狭まってくるんですね。その辺をどうするかということです。</p>
委員	<p>この前、グリーンコンサートで聞いていましたら、小学校の生徒が参加して校長賞や最優秀賞をもらっていましたね。採用された人と採用されなかった人といっても、あのときはちゃんと表彰を設けて参加させていました。</p> <p>前の協議会でも言いましたが、参加することに意味がある。どの歌が優秀だということはわかりませんが、参加することに意義があるので、できるだけ多くの参加の機会を与える。作曲作詞というのは同じ作詞家、作曲家でも合う人と合わない人とありますから、そうなってくると議論は果てしないので、できるだけ多く参加させる。結果はいろいろな形で表彰すればいい。落選したけど参加した地域参加という形をどこかに残しておけば、あとは専門家に任せる。</p> <p>そのためにイメージなのか、全部つくるのかというのは、校章にしても校歌にしても完璧というのは難しいと思いますので、イメージ募集というのでもいいと思います。いずれにしても、地域の子どもたちの参加。「参加の場」をつくることにしておいて、ある程度、作詞家、作曲家に任せるのがいい。</p> <p>最初から専門家に投げるというのはいかがなものかと思います。</p>
委員	<p>先程、和泉小学校は、当時の在校生が作詞されておられました。新泉小も学校のすぐ前に住んでいる　さんという方が作詞されている。歌詞と曲と分けると、歌詞に関しては地元にいる人や卒業生や在校生とかがいい。外に頼むと、フレーズそのものはいいと思いますが、親しみ感に欠けるような気がします。</p> <p>地元に住んでいたり、それぞれの学校を卒業したりした人たちのほうが、より学校の雰囲気も伝わる歌詞になるのではないかと思いますので、可能なら公募して、作曲家の方はプロの方でもいいと思います。よく歌詞を補正するよう</p>

	な補詞みたいなものがつきますね。ですから公募した歌詞を、使いやすいように作曲家に直してもらうのはいいと思いますが、歌詞は公募して、作曲は専門の人にと自分は考えたので、ご検討ください。
会長	歌詞を公募すると何本も上がってきますね。まとめ上げるのは作曲家、それとも作詞家に頼んでまとめ上げてもらいますか。
委員	ここでは難しいと思うので、専門的な人がいいとは思いますが。
会長	その辺ですが、歌詞になったものを公募して、つくるのか。
委員	イメージだけと言葉の羅列になってまとめるのは難しい気がします。ただ、卒業生がつくったというと、非常に思いがある。後々、歌い継ぐ人たちも、うちの卒業生がつくった、地域に住んでいる人がつくったというのはプラスなことだと思います。
会長	他にいかがでしょうか。ここに作詞作曲家の参考例がありますが、この方以外に、卒業生も含めてこういう方に頼んでみたらどうかという候補がありますか。
委員	F Mラジオに出演なさっている方がいますね。
委員	歌手のアグネスチャンの曲をつくったことがあるかと思います。
委員	先程、他の委員もおっしゃっていましたが、この前、和泉グリーンコンサートで「芝生に感謝の気持ちを」というテーマで和泉小の子どもたちがオリジナルソングの作詞コンテストをやって、最優秀賞の詞に曲をつけてくれた方はいかがですか。ものすごくいいメロディーでした。
会長	作曲ですか。
委員	作曲も作詞もなさっています。
相馬校長	今回、和泉小の子どもが100人ぐらい応募して、その中から選定した作詞でお願いしたら、余り編詞することなく、子どもの詞を生かして上手に歌の詞に変えてくださり、ちょっとポップス系で泣けるジーンとくるような曲に仕上げていただきました。だから、こういうことができるんだという感想は持ちました。和泉中さんで一度講演会をやってもらって、和泉小ではG Pの方たちが2年間続けてコンサートをした方です。そういう方もいらっしゃるということです。
会長	グリーンコンサートで今年、去年やっています。校歌は残りつくっていないと思いますが、子どもがつくった詞に作曲することをやっています。
委員	2カ月もしないでつくっていただきました。 また、他中学校の子どもたちの詞に、ほとんど全文変えずに曲をつくったこともあるようです。それは3カ月でつくったと言っていました。

会長	<p>少し研究していただくことも必要になってくると思いますが、そういう方を加えてよろしいですか。</p> <p>次に、子どもなり地域なりのイメージの公募と歌詞の公募という違いはありますが、前は参加型です。曲は難しいでしょうから、歌詞にフレーズが生きる形でとってほしいということでしたので、原案として事務局は2つの案を出してきています。歌詞を公募したときにいろいろ出てきた、それをどうまとめるのか。やはり専門家に頼まないと難しいという気がします。</p>
委員	<p>専門家もそうですが、一応歌詞を募集し、幾つか絞られてきたら、これをどなたかに頼むと決めていくという段階を踏んでもいいと思います。</p>
会長	<p>歌詞だと今みたいな感じですね。イメージなりフレーズだと、例えば「楽しい」とか「杉並和泉学園」を入れてくれというなら、それをアンケートにとって、何ポイント、何人そういうのが出ましたというのを相手に渡して、それを参考につくってくださいということになります。イメージの公募とはそういうことです。この中で必ずこれとこれを入れてくれということになると縛りはきつくなると思います。そうすると全員がやってくれるかはわからない。</p>
委員	<p>今ここで、この方がいいといたら進められるんですか。</p>
会長	<p>制作期間が1年あればつくれるでしょうね。</p>
委員	<p>私たちの年代だと さんをお願いしたいんですが。</p>
会長	<p>この方の校歌は、校歌らしいのもあればそうじゃないのもありますね。</p>
計画調整担当 係長	<p>校歌はすごくたくさんつくっている方です。ただ、小学校と中学校の音域があるらしいので、それを意識できるかどうか。音楽をやられている方なのでその辺は心配ないと思いますが、音楽の先生にお聞きしたときに、そこはポイントとして、音域の違いがあることを前提につくれる方ということをおっしゃっていました。</p>
新しい学校づくり 係長	<p>永福小のときにも話が出ましたが、校歌はアレンジして合唱仕立てにした、運動会のときに演奏したりするので、ポップス系の方を選ぶときにはアレンジになじまないというケースも、ままだ見受けられることがあるようです。</p>
会長	<p>永福小の校歌はとてもいい校歌だと思いますが、小学生だとあの音域でも十分だけど、中学生だともう少し低い音域でないと、という感じがします。</p>
新しい学校づくり 係長	<p>永福小校歌の作曲された方は映画音楽などを数多くつくっている方です。作詞をお願いした方は、作詞作曲をしています。果たして作詞だけで受けてくれるだろうかという不安はありました。</p> <p>作曲に関しては、専門性を重視して頼んでは、という意見があったため、作曲と作詞を分離して依頼しました。結果として、アレンジ等にもなじんだ校歌ができたと思います</p>

会長	今回は、具体的に作詞作曲の両方を頼むのか。作詞だけ、作曲だけお願いするのか。お願いする順番を決めなければいけないですね。仮に1番目2番目と順位をつけても断られるかもしれません。
委員	断られるのを覚悟でお願いします。
会長	1番は誰にお願いしたいかを、今回はしっかり決めていかなければいけない。それからどういうお願いの仕方をするのか。イメージを公募して、こういうのでお願いしますと。それである程度、(公募のイメージを)取り入れてもらうのか。あるいは歌詞をつくってしまうか。そのあたりですね。何かご意見はございますか。PTAの方、いかがでしょうか。
委員	歌詞自体の募集は難しいのではないかと思います。フレーズを募集したものを、こんなイメージですよという形になっていますが、公募するならこれではないかと思います。
委員	私も同じ意見で、確かに子どもたちが参加するのはいいと思いますが、歌詞募集に関してはちょっとレベルが高い。プロの方たちでも作詞作曲はかなり大変な作業じゃないですか。だから子どもたちに参加してもらうにしても、コミュニティマークの募集とか、ほかの形での参加を促す方向にして、とりあえず歌詞募集に関してはちょっと難しいかなという気がしています。 私は先ほども言いましたが、誰に当たるにしても、作詞作曲で頼むのか、あるいは作詞だけでどなたか組みたい人がいるのかということも含めた打診を個々の方にするのがいいんじゃないかと思います。子どもの歌詞募集に関しては難易度が高過ぎる気がしています。
会長	フレーズやイメージという程度ということですね。いかがでしょうか。
副会長	歌詞を募集するのは、それを選定するのが大変な作業だと思いますので、小中一貫の学校は、入れたい言葉を募集して、上からとっていったら決めていくという程度が限界ではないかと思います。
会長	そういう感じですかね。
委員	どなたにお願いすることになっても、ぜひ愛情を持って歌詞とか作曲をやっている方にお願いしたい。ただ、お願いで託すだけではなくて、学校に来てもらうとか、子どもたちの様子を見てイメージを作詞家や作曲家の方に持ってもらえるような方がいいと思いますので、そこは制作条件に入れてもらえるとうれしいです。
会長	いろいろですね。
委員	無理ですか。来てくれないですか。
会長	来て具体的に見てしまうとイメージが縛られちゃって、作りづらい人もいます。芸術家ですからね。杉並和泉学園という名前だけ聞いて、場所は写

	真を見て想像してやる人もいるだろうし、いろいろなんですね。作者の制作意欲をそぐような縛りは余りかけないほうがいい。どれが、縛りになるか、人によってわからないんですね。
委員	ぜひ、いい形でつくっていただけたら。
会長	他にご意見はありますか。
委員	今いろいろ話を聞いていて、曲をつくる、詞をつくるというのがありました。校歌をつくる場合はどこまでが制作なのかというのが一つ疑問です。メロディーまでつくっておしまいなのか、ある程度アレンジして、こういうイメージですよという曲までをつくるのか。それによって随分仕上がりが違う。メロディーをつくっても、アレンジして多少メロディーを変えたり詞を変えたりすると思うので、どの段階までつくるのが校歌をつくるという制作の作業になるのでしょうか。
新しい学校づくり係長	それは頼み方によるのではないのでしょうか。永福小では、詞に曲をつけてもらって、ピアノ伴奏用楽譜もお願いしました。
委員	例えば、卒業式や何かの式典のときに音楽の先生が伴奏する、その伴奏の目安というか、こういうイメージでというのがあると思うんですね。同じメロディーでもアレンジで随分イメージが違うと思うんです。その辺、どういう制作の仕方をするのかと思いました。
会長	編曲まで頼むのは難しいですね。
新しい学校づくり係長	その辺はわかりません。
会長	斉唱で歌いづらくならないようなつくり方をしてくれるんでしょうね。
新しい学校づくり係長	そうだと思います。その辺も考慮してつくってくださいという頼み方は必要だと思います。ただ編曲でも、どの程度なのかは私も全然わかりませんが。

会長	<p>斉唱のものを二部にするとなると、その人にやってもらうのか、それこそ音楽の先生がやるのかもかもしれませんね。そこはわかりません。そこまで頼めるかどうかはこのメンバーではわかりません。あとはよろしいですか。</p> <p>先ほど申しましたが、次回にはどういう頼み方をするのか。アンケートをとってイメージなり短い言葉をまとめて渡して、やってもらうのか。それとも歌詞をある程度公募で求めて、それをまとめてやっていくのか。それはかなり厳しいという意見はありましたが、そこを決めて、どういう順番にお願いしていくのかを決定することになります。</p> <p>先ほど出たように、このほかの方では、事務局で準備してくれた方と、委員の中から出てきたのは新泉小の卒業生、それからグリーンコンサートで小学生の詩に曲をつけていただいた方ですね。その他、もう少しほかに独自で探したいという方はいますか。</p>
委員	和泉中の卒業生で さん。
委員	新泉小卒業でリコーダーの演奏家もいます。
会長	それと作詞作曲者を選ぶポイントになるのは杉並にゆかりがある、卒業生もそういうことになると思いますね。あとは校歌をつくった実績のある人、それから著名人という形になりますかね。少し研究しないといけない。次回に決めないと間に合わないですから、次回はどうしますか。
委員	次回ぐらいが、リミットで結果が出ているといい。
会長	1年近くかけてつくる人もいますから。
委員	公募することになった場合はアンケート形式でとっていくのですか。
会長	公募して、ある程度の言葉とイメージを求めますよということをお願いする。どうやってやるのか、それからどういう順番でお願いするのかという両方を決めなければいけない。
副会長	<p>次回ですが、学園歌の作詞家、作曲家の例の項目がありますが、何を第一に置くかということだと思えます。例えば、杉並区とか新泉・和泉地区にゆかりのある方を重視するのか、また、9年間の子どもの成長で二部の合唱曲として完成した校歌がいいということであれば実績のある方にするのか。完成度を求めるのか、地域のつながりを大事にするのか。そういうことだと思えますね。どういう校歌がいいというのはもう、皆さんそれぞれだと思います。今風の校歌がいい方もいれば、今度で言えば学園名の入ったいわゆる校歌らしいのいいと思える方もいらっしゃる。どちらもそれぞれお考えがあると思うので、どれを優先するかを次回に整理すれば、どういう方にお願いするかが決まると思えます。</p>
会長	9年間、小学校の入学式・卒業式、中学校の入学式・卒業式、始業式、終了

	式、などで歌うことになります。
副会長	そういう条件を満たしてつくるということになれば、プロというのは安心ができる。それを一番にするならそういうことになります。
委員	中学生もいるので、土台のメロディーもつくるけれども、少しアレンジできる広がりのあるほうが、これからの時代にいいかなという気がします。
副会長	そういうメロディーをつくることのできる方という前提もありますね。
委員	今までと同じ考え方ではなく、広がりを持たせてほしいなと思います。
会長	いろいろ歌えるというのは、簡単に言えば合唱曲っぽいのが一番中学生も歌いやすい。広がりを持つというか発達段階がわかる。いつも斉唱で小学校と同じのものを歌っていたら、9年間が見越せるかどうかは難しい。
委員	中学生は歌い方が違って来るから。
会長	よろしいですか。少し研究していただく。会長としては、順番つけるとか、ここまでならいいとか、手元に参考例を持ってくればいいんですかね。今言った人の名前も入れて、これプラスほかの人の名前が入った用紙に記入して意思表示できるようにしていただく。それから確認したほうがいい気がします。とりあえず今言った人の名前を入れてつくってもらうことは可能ですか。
計画調整担当係長	はい。先ほど出た方で、こちらで情報が不足する場合は、どなたかにお聞きするかと思います。
会長	では、続いて学園章の制作について、ご説明いただきましたが2つあります。図案の公募をして候補を選定してトレースをかけてアンケートで投票する。学園歌と同じようにイメージを公募して制作依頼してアンケートを投票して決定する。これについてご意見をいただけますか。 天沼小学校は図案を公募しました。校章は105件、そのうち協議会で18点に絞ってトレースをかけてもらった。その中の1つが校章として選ばれて、もう1つは外すにはもったいないからコミュニケーションマークに使おうということでした。公募のやり方はそういうことで、この地域は105件以上になるか、もっと出るのか、少なくなるかはわかりません。 そういうやり方と、杉並和泉学園は小中一貫校で3校が一緒になるというイメージとか、そういうイメージを公募して、上位で選定されたイメージでもって作成してくださいと言って幾つか制作してもらい、その中から幾つか選ぶ。
委員	1か2でしょうね。
会長	どっちにするかご意見をいただければありがたいです。
委員	公募したほうがいろいろな図案が出てくるが、それをみんなで選ばなければいけない。

会長	<p>小中学生はどんどん絵を描きますね。特に小学生のほうが多いです。小学校の場合は完成度が低いので、それをどう選ぶのかは難しくなるとは思います。中学生や大人ではかなり完成度の高いものが出てくる。</p> <p>そういうふうにしていくか、イメージでどこかに依頼してつくってもらった中から選ぶ。いかがでしょうか。永福小の校章はそのまま残っています。天沼は見る限り、両方を合体した感じです。杉の若葉と杉の枝のイメージですね。</p>
委員	<p>基本的には校章に関しては、大人と子どもと一緒に応募したときに、よほど天才的な子どものデザインなら別ですが、ましてプロに近い人がやった場合は大体大人が選ばれると思うんですね。校章に関しては正式な大人を対象にして、コミュニケーションマークを子どもたちに一般応募というのはどうですか。大人のデザインは、ある人に頼むのがいいかなと思っている人がいて、皆さんも御存じの方で、小中一貫のデザインをやっている方がいますが、すばらしいデザインをしてくれるのではないかと思います。その方をお願いして、ある程度、公募で上げてもらったのを協議会のメンバーで決める、あるいはアンケートでもいいですが、そういう形がいいと思います。</p>
会長	<p>そうすると、イメージの公募はしないで頼んでしまう。</p>
委員	<p>3校の小中一貫についてかかわっているので、イメージ的にもよくわかっていらっしゃるし、研究発表のときも今までずっとかかわってきているので、そういう意味では説明しなくてもかなり理解されている方がいいと思って推薦します。一般の人はデザインの能力があったとしても、3校のイメージをどうたらこうたら話して、またデザインというのはすごく大変なことだと思います。そういう意味からして、間違いのないと思いますし、皆さんも認めていらっしゃると思いますが、何より抜群のセンスがあるので、私はできれば、それがいいと思っています。</p>
会長	<p>3校でいうとニュースレター、学校案内。</p>
委員	<p>走り方教室のチラシもやっぴらっしゃいます。</p>
会長	<p>そのあたりですね。ニュースレターもそうです。</p>
委員	<p>子どもたちからはコミュニケーションマークを募集すると結構おもしろいものが上がってくるのではないかなと思います。そういう参加の仕方もあるかなと思っています。</p>
会長	<p>いかがでしょうか。今回(の校章デザイン)は難しいと思うんですね。3校の校章で、新泉が大宮の校章をデザイン化した剣、和泉小と和泉中は泉のわき上がるイメージなので、合体させるのは難しいという気がする。</p>
委員	<p>合体させなくていい。</p>
会長	<p>新しいイメージでつくってもらったほうがいいのかなと思います。</p>

委員	合体することに固執しなくていいんじゃないですか。
会長	そう。新しいイメージで、思い切り変えてもいいと思います。
委員	直観的意見ですが、プロの方、デザインを専門にやられている方をお願いするのが公募よりもいいのかなと、話を伺っていてそういう感覚を持ちました。
委員	もしも子どもたちに図案を公募するのであれば、天沼小は、3年生から5年生の図工の授業でやって出品したので、そこまで組み込めなければ子どもたちは出さないほうがいいのかとちょっと思いました。
会長	教育課程はもう編制されているので時間的にどれだけとれるかですね。
委員	夏休みとか冬休みに募集するというのは。
新しい学校づくり係長	参考までに、永福のときのコミュニケーションマークはそれぞれの担任の先生等から、授業ではなく、こういうのを募集しますと話をし、子どもたちから募集をかけました。コミュニケーションマークですから校章とは少し違います。
委員	コミュニケーションマークは子どもたちにしっかり考えてもらって、それを考えることが、新しい学校に向かっていく意欲づけになると思いますので、3校の代表委員の中で、特活関係で応募をかけていくことも考えられないことはないと思いました。 校章は杉並区で初めてできる学校ですので、新たに生まれ変わる意味で、どなたかはわかりませんが、専門家にきちっといいものをつくってもらいたいと思います。
会長	コミュニケーションマークも、子どもが応募した中でどれにするんだというのを幾つか選んで専門家に見てもらおう。
委員	それでもいいですし、中学校の生徒会が中心になって小学校におろしていったダイナミックに動いた中で、選定委員会を中学でつくって決めていくのもいいですし、最終的に大人を入れてもいいし、そこは特活で決めていけばいい。
計画調整担当係長	制作について、子どもたちに参加させることが大事だというお話の中で、学園章については専門家に依頼する、そして参加するためにコミュニケーションマークをつくるという方向でお話されているということによろしいですか。コミュニケーションマークについては作成するかどうかは今までお話に出てきていませんでしたが。
会長	まだ出てきていませんでしたね。
新しい学校づくり係長	そうだと、今度はどういう使い分けをしていくかを考えていかなければいけません。
会長	コミュニケーションマークというのはどこで使っていますか。

新しい学校づくり係長	<p>永福小の場合には、学校からの配布物に使用している他、屋上フェンスの看板には左側に校章、中央に永福小学校と記載したもの、右側にコミュニケーションマークがあります。また、遠足に行くときに小型のコミュニケーションフラッグを持って行って、そこに集合する。大きなコミュニケーションフラッグが屋上に校旗とともに翻っている。永福南小と永福小が一つになった統合の証としてコミュニケーションマークをとらえています。卒業証書のようなものは全部校章ですが、それ以外はどちらかというコミュニケーションマークを多く使っていきましょうということです。</p> <p>区にも区章とコミュニケーションマークがありますが、区のマークというと、コミュニケーションマークのほうを目にすることが多いのではないかと思います。</p>
委員	<p>コミュニケーションマークは要らないのではないかと。学園章があるので、それを掲げていったほうがいいのではないかと。</p>
計画調整担当係長	<p>区の表彰とか式のときに区章を出しますが、格式を出すときに違いをつける。コミュニケーションマークは広く区をアピールするときに使っていき、区章は余り使わないという使い分けをしていると思います。ですから、学園章とコミュニケーションマークを使い分けしていく必要があるかどうかを考えていただきたいと思います。</p>
会長	<p>中学校のブレザーも、コミュニケーションマークというよりもエンブレムみたいな校章というイメージを持ちます。エンブレムというのは校章なんだろうけど。</p>
委員	<p>コミュニケーションマークのイメージというのは、子どもたちが新しく一緒になるよという気持ちを共通にするための手段で、でき上がったときに、新しい学校で、このマークでみんなで作って上げて仲よくなっていこうねというマークなので、仲よくなっていったら自然消滅なのかなと思う（笑）。そこは代表委員会や子どもたちの考えで決めていいのではないかと。学園章はあくまでも学校のマークですので、すべてはそれなんだろうなと思っていたのですが、使い方がよくわからないところがありますが、どうでしょうか。</p>
副会長	<p>今の話の感じだと、校章というのは学園を象徴する大事なマークなので、これはやっぱり専門家がいいだろう。でも、子どもたちの考えを何も反映させないというのはどうだろうかというのがあって、ではコミュニケーションマークかマスコットマークか、それに子どもたちの意見を反映させたらどうかという流れだと受けとめていました。</p> <p>ですから、校章は可能であれば子どもたちからイメージなりなんなり、こういう感じというのを募集して、それをプロの方に、こういう考えもあるんですけども、それを含めてデザインしてくださいと頼むやり方もある。コミュニ</p>

	<p>ケーションマークをつくる云々についてはメインではなくて、校章をどうするかということだと思います。</p> <p>天沼小学校は、大人と子どもに募集をかけたら両方応募があって、子どもたちがせっかく出したのに何も反映しないということができないからつくったというお話だったと思います。まず、校章をどうするかという話だと思います。</p>
委員	<p>今の話にかなり近いんですが、校歌についても校章にしても参加をさせてほしいんですね。校章だからこうというのではなくて、できるだけ参加させるということです。</p>
副会長	<p>参加させることを重視するのか。特定の方のお名前が出て、私も、ああと思いましたが、和泉小・中の元保護者なのでよくわかりだと思いますので、とにかくまっさらにしてお任せにするのか、その辺です。</p>
会長	<p>募集の仕方は絵まで入れるのか、イメージを描いてもらうのか。描きたければプラス絵までかいてもらうのは別にして、子どもに意見を求めて、それを集約したものを仮に専門家へ渡して、そこでイメージを持ってもらってつくってもらう。子どもの優しさとか、統合して3校一緒になるとかというのをイメージしてこれをつくりましたというものを出示してもらって選んだほうがいい気がします。知っているからといって全てお任せではなく、ある程度イメージを与えた中でつくってもらうほうがいい。ここに描いてある原案のほうを私は採用したいと思います。</p> <p>子どもに絵も描いていいよと言ったら、描きますかね。</p>
委員	<p>子どもはみんな描きますよ。</p>
委員	<p>小学生は絵を描くと思いますよ。</p>
会長	<p>イメージを言葉で書くよりもね。コミュニケーションマークのとらえ方については、少し議論したほうがいいかもしれませんね。コミュニケーションマークにするのか、学校のマスコット、そういうものを募集するのか。もし子どもの意見を取り入れるならそっちのほうがおもしろいですね。(「賛成」の声あり)</p> <p>それも可能ですかね。</p>
学校教育担当部長	<p>コミュニケーションマークは、子どもたちは自分で描ける。いろいろなところで活用できますから、描けるものをつくったほうがいい。校章というのは難しいですね。コミュニケーションマークをつくるのは一つのアイデアだと思います。</p>
学校支援課長	<p>子どもさんも参加と出ていますから、コミュニケーションマークをつくったほうがいいかなと思います。</p>
新しい学校づくり係長	<p>コミュニケーションマークのようなマークを別につくって、どういう位置づけにするかは中で議論して、どういうときに使うかを決めればいい。ほかの学</p>

	校でも例えば杉八小はハチのマークを使用しています。先生たちは名刺にそういうマークを入れているので、使い方はいかようにもできるのではないのでしょうか。
会長	そういうのはいいですね。
委員	だとすると、先ほど先生がおっしゃった子どもたちのデザインをもとにプロの方につくってもらって、より完成度の高いものを目指すのであれば、それはないほうがいいんじゃないか。プロに一任したほうがいい。キャラクターマークやコミュニケーションマークは子どもらしいアイデアをとって、いろいろな場所で活用できるほうが私はいいと思います。
会長	もし、コミュニケーションマークもつくるのであれば。
委員	あったほうがいいと思います。
会長	賛成という声もありましたが、フリートーキングで意見を求めていますので、それも含めて次回に決めたいと思いますが、よろしいでしょうか。 それでは学園歌・学園章の制作については以上で終わります。標準服について事務局から。
計画調整担当 係長	資料3、4をごらんください。資料3に部会の名簿、標準服検討部会と地域資料検討部会の2つの部会を設置協議会のもとに設置しました。8月16日に標準服検討部会の第1回を開催したのでご報告するとともに、ご確認いただき、次の段階に進みたいということで資料をご用意しました。 「要旨」に部会のスケジュール等について、来年6月あたりに平成27年度の新入生に対する説明会があるので、それまでに「杉並和泉学園の標準服についてはこうですよ」と説明できることが必要です。また、部会はPTAの皆さんが中心になりますので、できれば今年度中に、ある程度の結論を出していただくようなスケジュールを考えています。検討項目は、標準服の導入の可否、導入する場合にはデザインや素材などについて検討するのがこの部会の課題となります。 中学校の標準服について、主な意見としては、和泉中学校の標準服は導入したばかりであり、またこの標準服に何か問題があると聞いたことはない、ということから現在の和泉中学校の標準服を杉並和泉学園での中学部の標準服とする。このことを検討部会で確認しています。これが1つ目の確認事項です。 確認事項は3つありますので、まとめて協議会でご確認をお願いします。 次に、小学校の標準服については、導入することにより、小中一貫校としての一体感、規範意識、地域からの見守りなどから安全性が高まるのではないかとということで肯定的な意見がある一方で、小学校の活動を考えると汚れてしまう、成長期にあるので買い換えが心配だ、一部分や高学年から導入というご意

	<p>見がありました。いろいろな意見があって、検討部会で結論付けるよりも、アンケートを実施し、そのアンケート結果を踏まえて、小学部の標準服の検討を進めるということです。</p> <p>3つ目に、裏面にはアンケート調査の内容があります。小学校の児童や保護者のほかに小学校入学前の幼稚園・保育園のお母さん方からの意見も把握する必要があります。より多くの回答数を得るために配布と回収は学校、幼稚園・保育園で実施してもらったほうがよい。確認事項 に書いたとおり、小学校の標準服に関するアンケート調査を、協議会で調査概要を確認し了承していただいた後、実施を検討部会に委任してもらうことです。アンケート調査票をつくって、設置協議会で確認をしていただくと、それだけ期間がかかってしまいますので、調査概要のとおり調査対象を3校の児童生徒と保護者、通学区域内にある幼稚園・保育園とする。調査項目は導入の可否、部分的・学年別導入の可否、購入負担などです。調査時期は9月中旬に第2回標準服検討部会を行います。そこでアンケートの詳細についてご意見をいただき、その後にアンケートを実施します。</p> <p>駆け足で3つ確認事項を申し上げましたが、これらについて設置協議会でご確認いただき、次の段階へ進みたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>事務局から標準服について説明がありましたが、何か質問はございますか。よろしいですか。</p> <p>確認事項です。1つ目は、中学校の標準服は現在の和泉中の標準服をそのままとするということによろしいですか。(「はい」の声あり)</p> <p>2つ目は、小学校の標準服についてはいろいろな意見があるので、アンケート調査を実施して、調査結果を踏まえて検討するということによろしいですか。(「はい」の声あり)</p> <p>3つ目は、このアンケートについては調査内容もそうですが、概要を協議会で確認し、了承後、実施を標準部会に委任して行ってもらうということによろしいですか。(「はい」の声あり)</p> <p>小学校の標準服については、全員が導入というより、「ありますよ、だから購入したい人は購入してください」という考え方でもいいですね。それが基本になっていますか。中学校はほぼ全員が着ていますが。そういう感覚もありますね。よろしいですか。標準服部会に関して事務局から何かありますか。</p>
<p>委員</p>	<p>アンケートの項目の中で、「部分的に」というところですが、中学校は和泉中に行くのかどうかで部分的に固執するか、固執しないかは変わってくると思いますが、そこまで調査してもしょうがないですね。和泉中に行くのは確定しているから、高学年になったら絶対欲しいわといって一票入れるのと、和泉中には行かないから要らないと思っている人の一票は違うなと思いましたが、カ</p>

	ウントした結果、またここで話すからいいのでしょうか。
会長	そういう子も含めているのが小学校ということですか。
委員	さっきの自由性もあるし、ここであれを持たせれば、そんな細かくはしなくてもいいですかね。
会長	あとはよろしいですか。
委員	小学校の「部分的に」というのはスカートだけとか、そういうことの統一の話し合いでしたね。つまり部分的な導入というのはシャツだけ統一しましょうと。だから仮に和泉中に行かなくてもそんな負担ではないと思います。小学校だけで、中学生は今までどおりです。部分的というのは帽子とかシャツとか。
委員	5～6年生になればブレザーを購入してもいい。それは希望制でいいんじゃないか。そこまでは検討いただいているので、それを見せていただきながら。
会長	「部分的導入」というのは全員が部分的に導入するというのもあれば、全員じゃなくて希望者が買えばいいんじゃないかということもある。
委員	してもいいんだよ、というゆとりを持たせる。
会長	そういう幅を持たせるということですね。
委員	標準服は強制力を持つものではないということでしたので、そこも明記したほうがいい。強制力を持たなくても、結局みんな買ってしまふよねという話も出た。ただ、「強制力がない」というのは一言大事なことだと思います。
会長	中学校も標準服というのは標準で、全く強制ではない。保護者のご協力のみな同じものになっています。
副会長	小学校6年間が終わった後の進路の話が出ていましたが、特に低学年の保護者の方は杉並和泉学園に行くつもりで入ってきていらっしゃる方がほとんどだと思うので、和泉中に行くつもりと考えて大丈夫なんじゃないかと思います。私学受験をする場合は別ですが、公立に行く方はそういうことで考えていいと思います。
会長	標準服部会に関しては、今のアンケートをとって、その調査結果に基づいてお話しただけということではよろしいですか。 では、事務局からほかに何かございますか。
計画調整担当 係長	「その他」で、第23回につきましては、次第に書いてありますように、10月下旬に新泉小学校での開催を予定しています。また本日の会議録につきましては、皆さんへ校正をお願いしますので、よろしくお願いします。 それから本日、こちらの協議会が終わった後に、地域資料検討部会第1回目を2階の会議室で開催いたします。以上です。標準服部会は9月18日の午前中に和泉小学校で開催を予定しています。変更があれば連絡させていただきますが、時間は10時からお願いします。

